

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立海老江西小

学校

児童数

21

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.75	21.50	32.25	41.25	50.13	9.48	140.13	22.75	51.75
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	13.54	19.62	37.77	42.38	48.54	9.25	138.31	13.69	56.77
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

男女共に、8種目中5種目（上体起こし・反復横とび・20mシャトルラン・50m走・ソフトボール投げ）で全国平均を上回った。体力合計点では、男子は0.78ポイント全国平均を下回ったが、女子は2.85ポイント全国平均を上回った。

意識調査では男女共に、100%の児童が運動やスポーツが好きと肯定的に答えており、特に女子においては、100%の児童が最も肯定的に答えている。また、男女共に100%の児童が保健学習を通して、運動、食事、休養、睡眠に気をつけた生活を送れていると肯定的に答えており、これまで以上に運動したいと答えている。

1週間の運動時間数では、男子は「6.5分」全国平均をわずかに下回ったが、女子は「222分」全国平均を大きく上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

「マット運動週間」「とび箱週間」「鉄棒週間」「なわとびタイム」「おおなわタイム」などの強調週間の設定や、児童が進んで体を動かしたくなるような体育授業での工夫、担任との「みんな遊び」、養護教諭による保健指導等、本校がこれまで取り組んできた「児童が運動に親しみ、運動好きになる」ような取り組みが実を結び、男女共に体力・運動能力・運動習慣の向上がみられた。今後も引き続き、これまでの取り組みを進めていく。

男女共に全国平均を下回った3種目（握力・長座体前屈・立ち幅とび）のうち、「握力」と「立ち幅とび」の2種目に大きな課題がみられた。よって、握力の向上に関しては、体育学習時に鉄棒運動に意識して取り組んでいく。また、立ち幅とびの向上に関しては、瞬発力を意識した取り組みを行っていくとともに、ICTを活用して立ち幅とびのコツをつかませ、より良い動きになるように工夫する。